



令和 4 年度 「かながわ水源地域活性化計画」に係る 取組状況について

神奈川県政策局政策部土地水資源対策課

1 全体の取組状況

2 令和3年度課題解決 への取組状況

1 - 1 かながわ水源地域活性化計画①

前回計画の課題

人口減少や高齢化の進展等によりこれまでの取組の継続が困難

目的

水源地域を取り巻く環境を良好な状態で維持していく

施策の方向性

維持していくため、水源地域における交流を通じて、
「水源地域の活性化」と「水源環境の理解促進」を進める

- 「水源地域の活性化」

水源地域住民と都市地域住民の連携・協働による水源地域の魅力発信

- 「水源環境の理解促進」

県民全体での水源環境への共通理解、水源地域に対する認識の共有

1 - 2 かながわ水源地域活性化計画②

対象地域(=水源地域)

- 相模湖、奥相模湖、津久井湖、丹沢湖、及び宮ヶ瀬湖が所在する **相模原市の一部**(城山地区、津久井地区、相模湖地区及び藤野地区)、**山北町**、**愛川町**、**清川村**

計画期間

- 2021(令和3)年度から2025(令和7)年度までの **5か年**

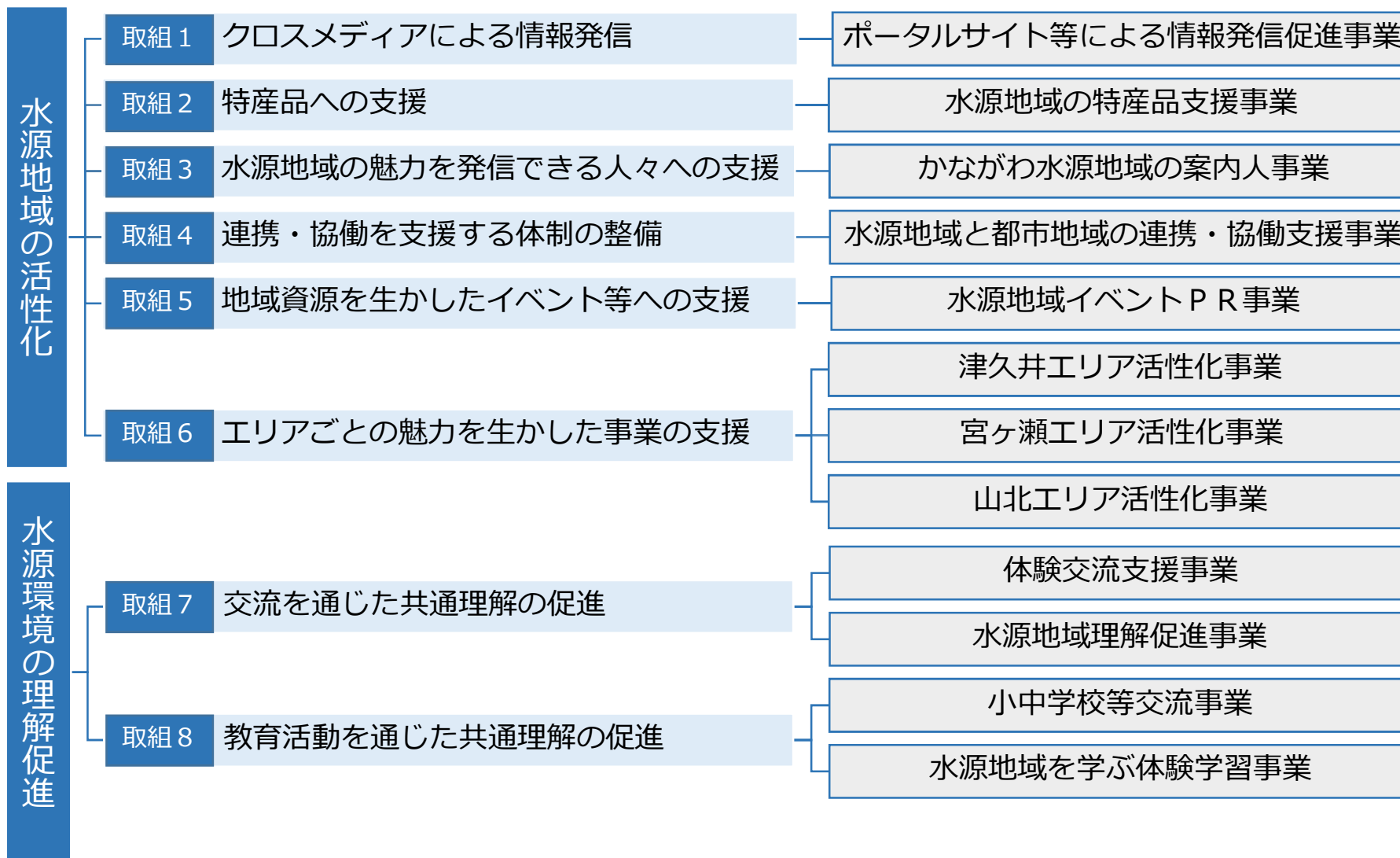
実施体制

- 国、自治体及び関係団体で構成された**協議会(水源地域活性化推進協議会)**が中心となり、構成団体と連携を図りながら推進

目標・効果検証

- 計画最終年度(令和7年度)の「**水源地域への交流人口(水源地域への来訪者数)**」及び「**来訪者の満足度**」に目標値を設定
- 有識者等で構成する「**フォローアップ会議**」を設置し、効果検証を行う。

1 - 3 かながわ水源地域活性化計画③



2 予算

令和4年度予算総額 : 13,733千円

- 協議会実施分 : 4,362千円
- 県実施分 : 9,371千円

施策	取組名	協議会	県
水源地域 の活性化	クロスメディアによる情報発信	2,500千円	1,078千円
	特産品への支援	1,805千円	—
	水源地域の魅力を発信できる人々への支援	—	80千円
	連携・協働を支援する体制の整備	—	799千円
	地域資源を生かしたイベント等への支援	—	—
	エリアごとの魅力を生かした事業の支援	—	1,500千円
水源環境 の 理解促進	交流を通じた共通理解の促進	—	4,833千円
	教育活動を通じた共通理解の促進	—	950千円
その他(会議開催費等)		57千円	131千円
		計	4,362千円
			9,371千円

3-1 取組の内容①

施策	取組	事業	実施内容	実施状況
水源地域の活性化	加メディアによる情報発信	ポータルサイト等による情報発信促進事業	ポータルサイトの運営	実施
			S N Sの活用	実施
			戦略的な発信方法の検討	実施
			情報発信における連携	実施
			交流施設に関する情報の発信	実施
	特産品への支援	水源地域の特産品支援事業	「やまなみグッズ」のブランドイメージの向上	実施
			戦略的なP Rの実施	実施
			「水源地域のブランド」としての連携	実施
	水源地域の魅力を発信できる人々への支援	かながわ水源地域の案内人事業	「かながわ水源地域の案内人」の創設	実施
			連絡会議の開催	実施
			案内人同士の連携の促進	実施

3-2 取組の内容②

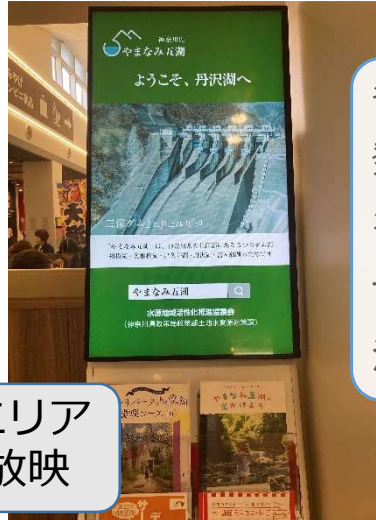
施策	取組	事業	実施内容	実施状況
水源地域の活性化	連携・協働を支援する体制の整備	水源地域と都市地域の連携・協働支援事業	水源地域に対するニーズの調査	実施
			水源地域に興味を持つ都市地域住民又は団体の発掘	実施
			「連携・協働」に向けた仕組みづくり	実施
			コーディネーター(組織・人)の検討	実施
	地域資源を生かしたイベント等への支援	水源地域イベントPR事業	水源地域の「体験・交流イベント」としての一体的なPR	実施
			マッチングの強化	実施
	エリアごとの魅力を生かした事業の支援		エリア活性化事業	応募なし

3-3 取組の内容③

施策	取組	事業	実施内容	実施状況
水源環境の理解促進	交流を通じた共通理解の促進	体験交流支援事業	体験・交流プログラム等への支援	実施
			都市地域住民の参加促進	実施
		水源地域理解促進事業	キャンペーン等の実施	実施
	教育活動を通じた共通理解の促進	小中学校等交流事業	小中学校等交流の実施	実施
			交流の促進・持続	実施
		水源地域を学ぶ体験学習事業	体験学習の実施	実施
			事業の拡大に向けた検討	実施

4-1 主な取組事例①

取組1 クロスメディアによる情報発信



各湖の魅力を発信する動画を、デジタルサイネージを活用して放映

サービスエリアでの動画放映

取組2 特産品への支援



水源地域PRイベント(都市部)での委託販売の実施

生産者に負担が少ない方法によるやまなみグッズの販売
(かながわの水源地域キャンペーン)

取組3 水源地域の魅力を発信できる人々への支援



案内人への支援策の検討のため、案内人会議を実施

会議の実施

取組4 連携・協働を支援する体制の整備



体験教室

体験教室を都市地域で実施することによる、サポーター(都市地域住民)の発掘
(かながわの水源地域キャンペーン)

4-2 主な取組事例②

取組 5

地域資源を生かした
イベント等への支援



昨年度作成したイベントパンフレットを各種イベントや商業施設で配布

イベントパンフレットの配布

取組 7

交流を通じた共通理解の促進



かながわの水源地域
キャンペーンの実施

水源地域の魅力発信及び理解促進を推進するためのキャンペーンを実施
場所：川崎アゼリア
(川崎市川崎区)

取組 6

エリアごとの「魅力」を生かした事業の支援



水源地域で自然体験交流事業を実施してみませんか



奈川県では「かながわ水源地域活性化計画」に位置付けられた事業（エリア別事業）の開催を支援するため、「エリアごとの魅力を生かした事業」の新たな支援を始めました。

事業への新たな提案を促すための周知活動を実施

周知活動の実施

交流事業開催事業費補助金（体験型）と「エリア別事業」

取組 8

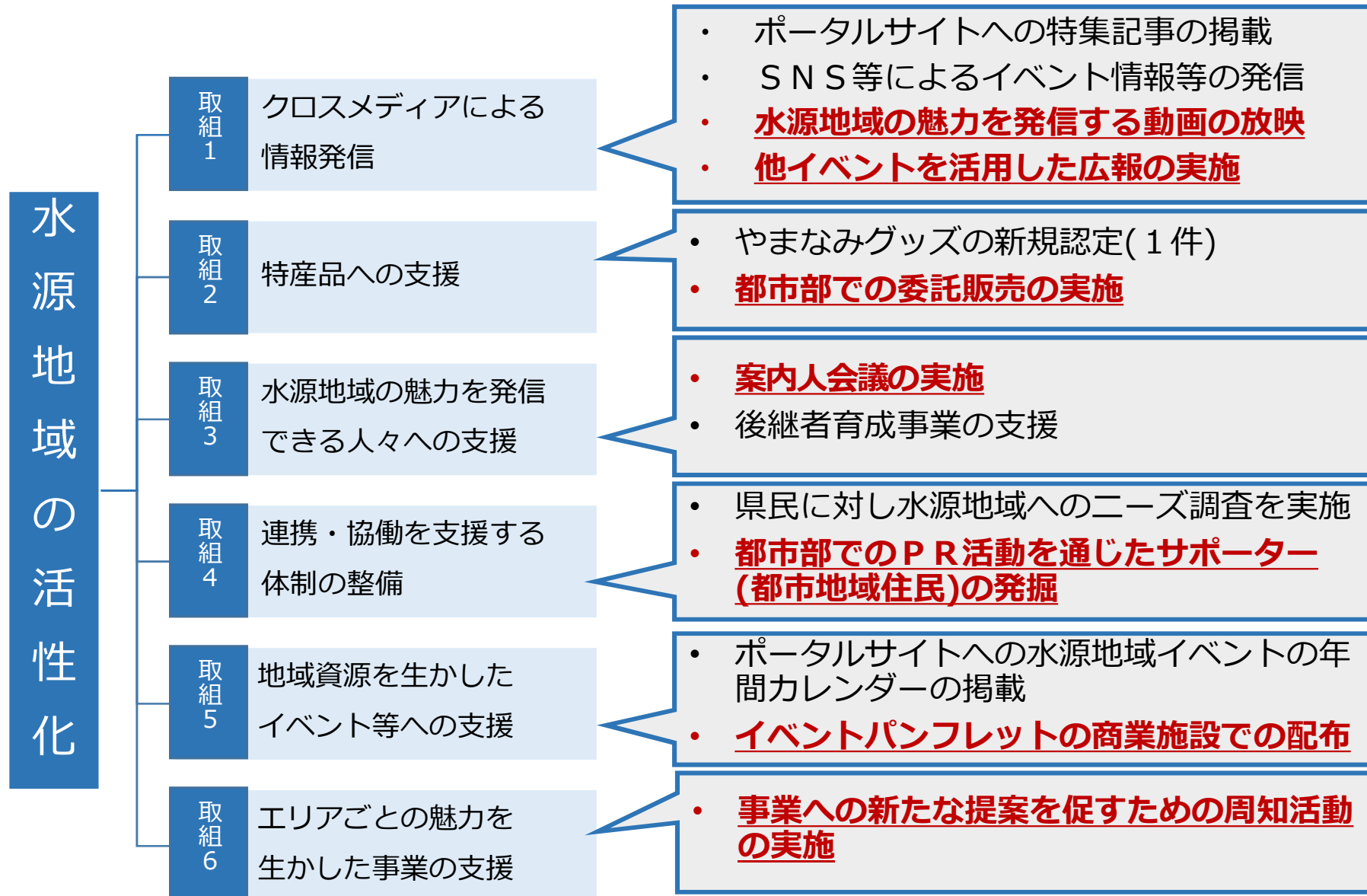
教育活動を通じた
共通理解の促進



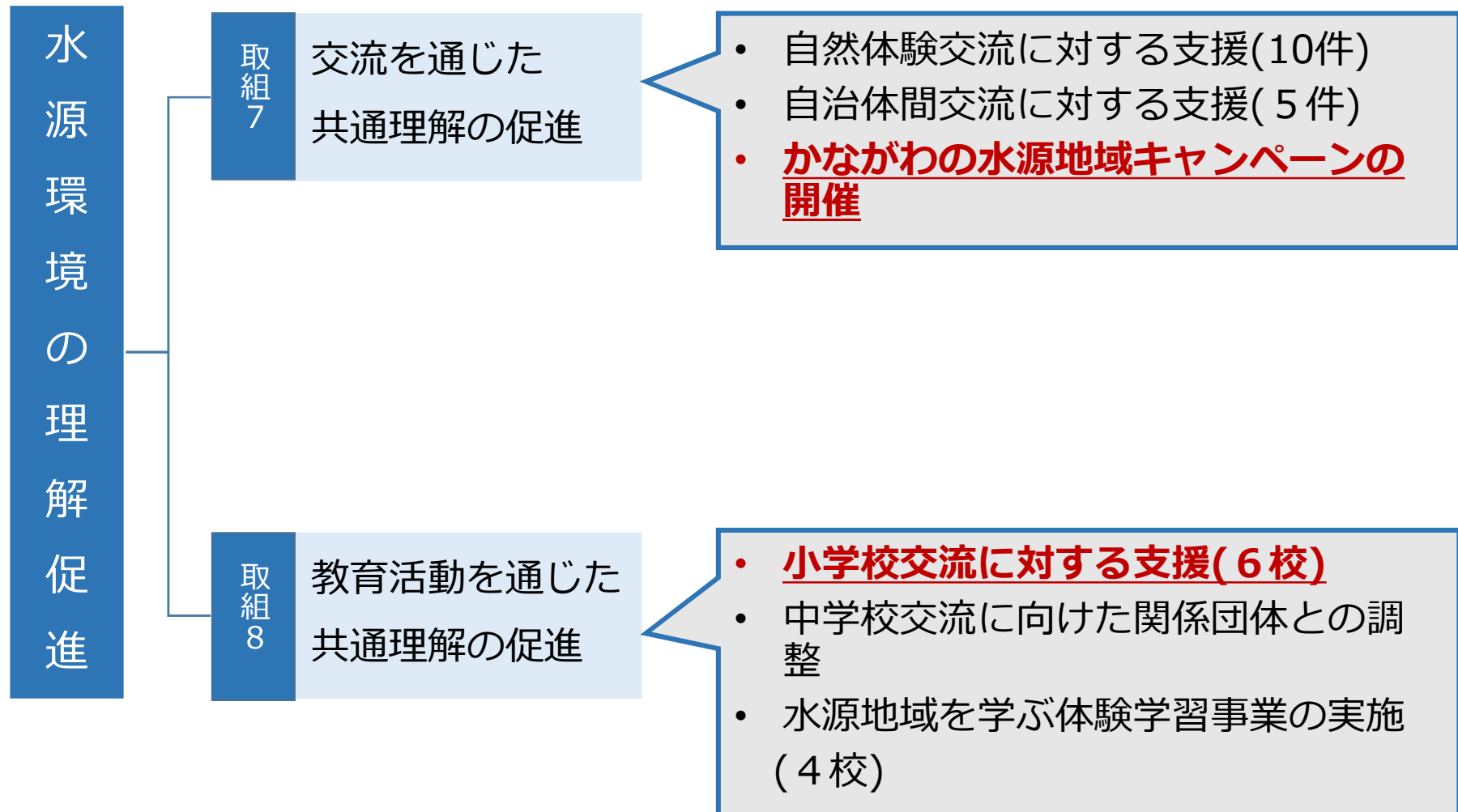
小学校交流
に対する支援

水源地域と都市地域の小学校の交流を支援

5-1 取組実績の概要①



5-2 取組実績の概要②

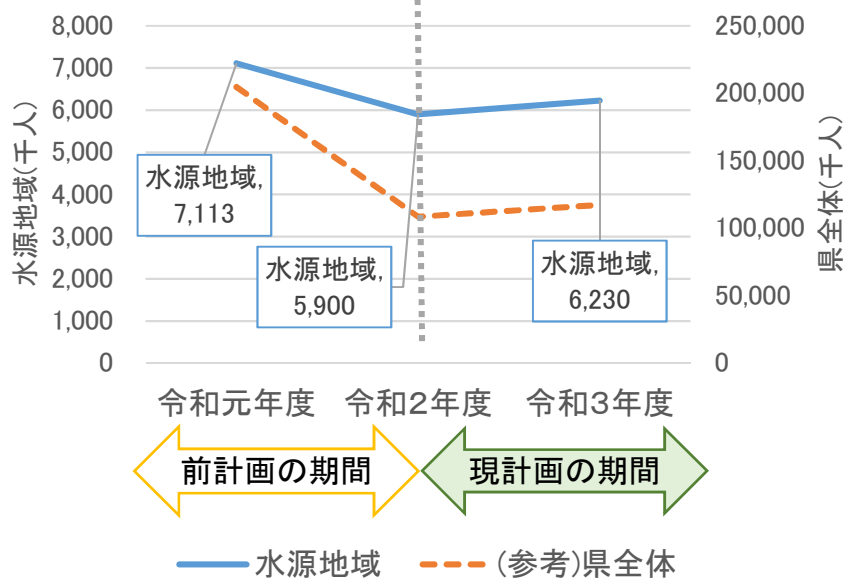


6-1 取組結果①(計画全体)

水源地域への交流人口 (水源地域への来訪者数)

- 令和3年度の交流人口は、**623万人**
- 目標値である918万人(令和7年度)には、**295万人**の増加が必要
- ※ 令和4年度の数値は集計中

【参考】これまでの交流人口の推移(千人)



来訪者の満足度

- 令和4年度の満足度は**95.2%**
- 目標値である全体の80%以上を**達成**

取組名	事業名	満足度の内容	満足度
「地域資源」を生かしたイベント等への広報支援	水源地域イベントPR事業	支援したプログラム等への参加者の満足度	95.2%
	体験交流支援事業	支援したプログラム等への参加者の満足度	97.5%
交流を通じた共通理解の促進	水源地域理解促進事業	キャンペーン等への参加者の満足度	88.1%
	小中学校等交流事業	参加者の満足度	95.7%
教育活動を通じた共通理解の促進	水源地域を学ぶ体験学習事業	体験学習等への参加者の満足度	99.3%

6-2 取組結果②(各取組)

<p>クロスメディアによる情報発信</p>	<p>特産品への支援</p>	<p>水源地域の魅力を発信できる人々への支援</p>	<p>連携・協働を支援する体制の整備</p>
<ul style="list-style-type: none"> ポータルサイトへのアクセス数 月平均31,750件 SNSへの反応 1件平均1,249件 (Twitter) 	<ul style="list-style-type: none"> やまなみグッズの認知度 知っていた：12.9% このイベントで初めて知った：65.7% 知らない：20.0% (有効回答数138件) 	<ul style="list-style-type: none"> かながわ水源地域の案内人の登録者数 14者(個人12,団体2) 連絡会議の実施回数 1回 	<p>(以下の実績を参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> 『地域資源』を生かしたイベント等への広報支援 交流を通じた共通理解の促進
<p>地域資源を生かしたイベント等への支援</p>	<p>エリアごとの魅力を生かした事業の支援</p>	<p>交流を通じた共通理解の促進</p>	<p>教育活動を通じた共通理解の促進</p>
<ul style="list-style-type: none"> 支援したイベント等への参加者数 209,775人 参加者の満足度 95.2% 	<ul style="list-style-type: none"> 地域からの提案に対する支援数 応募無し 	<ul style="list-style-type: none"> 支援したプログラム等への参加者数 190人(R5.2.1日現在) 支援したプログラム等への参加者の満足度 97.5%(R5.2.1現在) キャンペーン等への参加者数 242人 キャンペーン等への参加者の満足度 88.1% 	<ul style="list-style-type: none"> 交流を実施した学校数(参加者数) 3組6校(210人) 参加者の満足度 95.7% 体験学習等への参加者数 244人(4校) 参加者の満足度 99.3%

1 全体の取組状況

2 令和3年度課題解決への取組状況

7 これまでの主な課題

「やまなみ五湖」の認知度向上

- 相模湖、奥相模湖、津久井湖、丹沢湖、宮ヶ瀬湖の各湖が神奈川県にとっての「水源」であることや、水源地域の活性化に向けた取組があまり知られていない

担い手の確保

- 計画上の各取組は、地域住民等の自発的な活動を前提として支援しているが、水源地域では人口減少や高齢化が進んでおり、これからの地域の活動を担う新たな「担い手」の確保が必要

新たな行動様式への対応

- 新型コロナウイルス感染症により、イベントが中止となる等、地域活動に大きな影響が発生し、コロナ禍による行動様式の変化が生じた

8 課題解決に向けた方向性

認知度



「水源地域の魅力」の継続的な発信

担い手の確保



「かながわ水源地域の案内人」
制度の改善

新たな行動様式
への対応



事業・制度の柔軟な運用

9 「水源地域の魅力」の継続的な発信

R 4 年度

新

ねんりんピックでの
やまなみグッズ販売

令和4年度は令和3年度の実績と合わせ、
各種イベントの機会を捉え、
「水源地域の魅力」を発信した。



競馬協賛レースによる宣伝

R 3 年度

WEB媒体を活用した発信



やまなみ五湖navi公式アカウント
@yamanami_navi

水源地域交流の里づくり推進協議会（事務局：神奈川県土地
堂する「神奈川やまなみ五湖navi」は、相模湖、奥相模湖、
ヶ瀬湖の5つの湖、通称「やまなみ五湖」周辺の情報を発信
す。イベント情報などを発信します。お問合せはウェブサイ
ください。

◎ 神奈川県 suigen.jp 2012年12月からTwitterを利用

44 フォロー中 793 フォロワー

ポータルサイト
やSNS等によ
る魅力発信

新

水源地域キャンペーンでの
やまなみグッズの委託販売



10-1 「かながわ水源地域の案内人」制度の改善

「かながわ水源地域の案内人」の役割を明確化

- 案内人の役割を、『普段の活動を通じて、計画の方向性として設定している、「水源地域の活性化」と「水源環境の理解促進」を推進する』ことと整理した。

案内人への支援内容の検討

- 案内人への意見照会（案内人会議）を実施の上、計画上の各取組(取組に基づく事業や制度)において、具体的な支援内容を検討した。

10-2 支援内容の検討①

取組		支援の方向性	今後支援内容(案)
水源地域の活性化	取組1 クロスメディアによる情報発信	「情報発信」の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ (R4～)案内人についての広報実施 ・ (R5～) Instagramによる情報発信
	取組2 特産品への支援	「情報発信」・「販売」の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ (R4) やまなみグッズ推薦基準における優遇措置の実施 ・ (案) 案内人の生産するやまなみグッズの優先的広報実施
	取組3 水源地域の「魅力」を発信できる人々への支援	「活動」の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ (R4～)案内人会議の実施
	取組4 「連携・協働」を支援する体制の整備	「連携・協働」の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ (R4) 案内人制度紹介動画の作成 ・ (R4～)かながわの水源地域キャンペーンにおける体験教室の実施 ・ (案)案内人のワークショップの開催

10-3 支援内容の検討②

取組		支援の方向性	今後支援内容(案)
水源地域の活性化	取組 5	「地域資源」を生かしたイベント等への支援	「情報発信」の支援
	取組 6	エリアごとの「魅力」を生かした事業の支援	
水源環境の理解促進	取組 7	交流を通じた共通理解の促進	「活動」の支援
	取組 8	教育活動を通じた共通理解の促進	
			(取組 1 と共通)
			<ul style="list-style-type: none"> ・(R5～)「水源地域活性化・自然体験交流事業開催事業費補助」における、案内人への優遇措置の実施
			<ul style="list-style-type: none"> ・(案)案内人出前授業の実施

11 事業・制度の柔軟な運用

令和4年度は、「ウィズコロナ」の観点から
地域活動(イベント等)を復活させる動きが見られた



直接的支援

- イベント等の復活を促すため、「自然体験交流事業開催事業費補助金」による継続的な財政的支援の実施



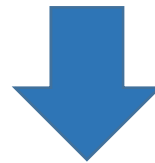
間接的支援

- 水源地域活性化推進協議会事務担当者意見交換会を実施し、新たな行動様式を踏まえたイベント等の情報提供や、意見交換を実施

12- 1 委員からの御意見と主な取組①

委員からの御意見

利用者目線での水源地域に対する体験・レクリエーション
ニーズの把握が必要
(利用者ニーズ(ニーズ調査)の把握が必要)。



取組

令和4年度神奈川県「県民ニーズ調査」(第2回課題調査)の
一環として実施(参考資料3を参照)

12-2 委員からの御意見と主な取組②

委員からの御意見

以前から実施している「神奈川やまなみ五湖navi」(ホームページ)への案内人のインタビューの掲載をまた実施してほしいと思う。



取組

神奈川やまなみ五湖naviにインタビュー記事を掲載



12-3 委員からの御意見と主な取組③

委員からの御意見

現状の自然体験交流事業をかながわ水源地域の案内人個人として行いたいという要望もあるため、案内人としてのイベントの企画、実施が可能な制度の検討が必要と考える。



取組

案内人の事業実施への支援ができるよう、要綱を改正

改正内容

- 案内人であれば個人申請可
- 案内人としての活動を加味した優先順位の追加